

令和3年度 東富岡公民館事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

生涯学習の大切さを認識し、家庭・学校・職場及び各種団体と連携を図り、公民館の活動成果が地域に還元され、主体性のある地域に成長するため、地域に根ざした公民館活動を推進します。

(2) 重点施策

- 地域住民の要望に応じた生涯学習の推進に努めます。
- 趣味やスポーツ、音楽などの集いの場所を提供し健康増進に努めます。
- 生涯学習を推進するうえで各種団体との連携を図り、地域の担い手の発掘・育成を行い、地域づくりの一翼を担います。

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
小学生	青少年教室	子ども絵画教室	8月	32人	2回	主催
成人	成人教室	盆栽こけ玉教室	7・10月	12人	2回	主催
		源氏物語を楽しむ	7～1月	90人	8回	主催
		歌声喫茶はるかぜ	7～1月	88人	9回	主催
		初心者ケーナ教室	9～11月	35人	5回	主催
		陶芸教室	10・11月	15人	2回	主催
		クリスマス料理教室	12月	6人	1回	主催
地域住民	地域づくり協議会事業・世代間交流事業	しめ縄づくり教室	12月	20人	1回	共催
	地域づくり協議会事業・生涯学習奨励員事業	ふれあいカフェなごみ	4～11月	104人	4回	共催

3 主な事業紹介

(1) 事業名・講座名

「歌声喫茶はるかぜ」

① ねらい

地域住民のふれあいの居場所づくりと、季節に合わせたなつかしい音楽で、歌いながら体を動かし、脳の活性化や健康づくりを目的としました。

② 事業内容

音楽療法士（NPO 法人プレパレ勤務）の講師が毎回内容の違う歌を選び、時節にあった内容で参加者にも大変好評をいただいています。

また、NPO 法人プレパレの訓練生が教室の手伝いをしているため、お互いに有益な事業となっています。



(2) 事業の評価・反省（反省と課題）

新型コロナウイルスの感染拡大を心配する中、主催教室の集客が難しくなっています。しかし、受付初日に定員に達するほどの人気教室もあります。地域住民のニーズにあった事業展開や公民館の活用が必要だと感じます。

また、東富岡地区は地域活動には活発で、特に10月の体育祭には例年ですと、約500人が集まり盛り上がる行事となっています。そういった地域性を活用し、次年度以降の公民館運営を推進していきます。

4 今年度のまとめ（評価・反省）

少子高齢化の中、公民館事業の参加者も高齢化が顕著になってきました。高齢者向けの事業は比較的人数も集まりやすいですが、若年層向けの事業は集客自体が難しい状況です。高齢者の居場所づくりも大切な事業なため継続しつつ、若年層が利用しやすい仕掛けや世代間交流が図れるよう、コロナ対策を行いながら、充実した事業を展開していきたいです。